

日時	平成 30 年 12 月 21 日（金） 14 時 40 分から 15 時 20 分まで
場所	光が丘図書館 第一会議室
出席者	<p>(1) 光が丘図書館（以下「光」） 管理係長、運営調整係長・係員（3）、事業統括係長、子供事業統括係長 光が丘図書館長は欠席</p> <p>(2) 南大泉図書館指定管理者（日本コンベンションサービス株式会社）（以下「南大」） 南大泉図書館長、同館業務従事者（2）、本社スタッフ（2）</p>
内容	<p>施設管理について</p> <p>（光）利用実績にある、レファレンス件数のカウントの仕方について （南大）レファレンス記録として残している内容についてのみカウントしている。</p> <p>（光）冬季期間中の大雪対策について （南大）南大泉図書館の自動ドア入口の前が急な石階段となっているため、大雪が降ることが事前に分かっている場合には、融雪剤をまいて雪が溶けやすいようにしている。また、開館時間中はスタッフが交代で館外の雪かきを行う。 （光）交通機関が止まった場合の対応は。 （南大）交通機関が止まった場合は、図書館の近隣に住むスタッフで開館準備を行う。たとえ責任者が開館に間に合わない場合でも、開館するために最低限することについてはスタッフ間で共有しているので運営に影響はないと想定している。</p> <p>一般事業について</p> <p>（光）10 月実施の「リサイクル市 2 回目」について （南大）前回実施した際に指摘を受けたため、今回は「売買目的禁止」と大きく掲示を出した。 （光）インターネットサイトで練馬区の除籍本が売り出されていることがある。区としては、利用者がリサイクル本を持ち帰った後のことについてまでは関与できないが、営利目的での利用は想定していない。区側の意思表示のために、今後もしリサイクル市開催の際には掲示をお願いしたい。</p> <p>（光）10 月から始まっている「ブックチケット配布」について、使用方法是。 （南大）短冊形の紙に 4 冊程度の書誌情報を載せ、1 冊ごとに切り取れるようになっている。そのまま使っていただいたり、本の予約をするときに切り取って窓口へ渡してもらったりできる。切り取ってから読書ノートに貼っている方もいて、使い方は様々である。</p> <p>（光）11 月実施の「古典まつり」について （南大）近隣で活動している、東大泉かるた同好会との協働で実施した。百人一首にまつわるブックトークで「ちはやふる」の古典落語を語って楽しんでいた後、札払いや競技かるたを同好会の方に教えていただきながら行った。会場は図書館 2 階のレクリエーションホールを使用した。定員 30 名のところ 16 名の参加だったが、結果的に丁度よい人数だったと感じた。</p>

(光) 11 月実施の終活講座 「エンディングノートの基本」について

(南大) で「生前整理」をテーマに取り上げ、今回で「エンディングノートの基本」、次回は 3 月に 「遺産相続」の講座を企画している。に参加された方の多くがにも参加して下さったが、連続した講座内容ではないので、今回だけの参加でも問題ない。エンディングノートに書く内容や書くときの注意点などを終活ライフ・ケア・プランナーに講義していただいた。

児童・青少年サービス事業について

(光) 11 月実施の「あおぞら紙芝居」について

(南大) 事業でお付き合いのある農家の方から町内会主催のフリーマーケットで読み聞かせをやってほしいというご依頼があった。会場が外のため、クイズ形式で絵本を紹介するような遊び要素がある演目を実施し、注目をしてもらえよう工夫した。

(光) 11 月実施の「日本のがっきをきいてみよう」について

(南大) 武蔵野音楽大学から紹介いただいた和楽器サークルの皆さんをお招きし、琴、三味線、尺八、篠笛などの楽器を奏でいただいた。当日は南大泉図書館分室の「おはなしのへや」を使用した。参加者が 58 名と多かったため、親御さんたちには会場を囲むような形で立ち見をしていただいた。演奏が終わると、希望する子供全員に楽器を触らせていただいた。終了後のアンケートが好評だったため次回も開催をしたいと思うが、琴の運送費用が思いのほか高く、費用面の理由で次回の開催は難しいと考えている。

その他

(光) 10 月開催の「利用者懇談会」について

(南大) 本館で一般利用者 4 名、分室で 5 名の参加があり、例年とほぼ変わらない人数だった。本館と分室で、主に書架に関するご意見をいただいた。例えば、児童書架にある電車の本については、一般書架にも関連本が多くあるので、それについて何か表示をしてくると助かるといったご意見だった。また、書誌情報を紹介する POP について、作家についての POP を作ってはどうかとのご意見をいただいた。実際に作成を試みたところ、紹介した作者の本の貸出しにつながった。

(光) 参加者数は例年このくらいか、少ないのではないかな。

(南大) 例年このくらいである。図書館運営についてご意見のある方が来てくださっている。1 時間の中で発言して下さる内容を考えると、この位の人数のほうが意見を言いやすいことがある。特段少ないとは思っていない。

(光) 11 月実施の「利用者アンケート」について、南大泉図書館の本館と分室ともに総合的な満足度が例年 9 割を越えており今年も高い満足度であった。何か特別な取組をしているか。

(南大) 今回はアンケート実施期間中に、ブックチケット等を配布していた。ちょうど図書館の事業が利用者の印象に残っているタイミングだったかもしれない。また、分室は子供に特化した施設のため、子供も大人も安心できる環境を提供できていることに高い評価をいただけたのではないかと考えている。